

令和4年度 部局経営目標（達成状況）

年度	令和4年度	作成日	令和5年3月31日		
部局名	市長直轄組織	部局長名	池田 敏浩		
(1) 部局の役割・使命（ミッション）・経営方針					
<p>【No.11：住み続けられるまちづくりを】</p> <p>1. 災害に強いまちづくり 災害に強いまちづくりを進めます。</p> <p>2. 防災意識の向上 地域の自助・共助による防災意識の向上を図ります。</p>					
(2) 事業成果目標		指標名及び目標値			
<p>1-①緊急時の市民への迅速な情報伝達を目的として「消防・防災情報配信システム」を構築します。</p> <p>・利用率の高いLINEをはじめとした各種情報伝達手段で、モバイル媒体を活用する若者世代から、アナログ媒体に親しみのある高齢者世代まで効果的な手段で市民等への災害時情報配信の強化を行い、「避難率の向上」と「逃げ遅れゼロ」を目指します。</p> <p>・情報の受け手に登録をしてもらう必要があるため、広報紙、MIT、新聞を活用し広報を行う。</p>		指標：登録人数			
		目標値	実績値	評価	次年度への課題
		2,500人	1,038人	令和4年4月より登録開始し、広報真庭、MIT、告知放送、各種イベント等で周知を行った結果1,000人は超したが、その後登録者数があまり伸びていない。	本システムの必要性を強調し、引き続き周知を行っていく。
<p>1-②大規模な災害が発生した場合を想定し配備している「備蓄品」を適正に管理します。</p> <p>・大規模災害の発生被害及び他自治体からの支援到着時期を想定し、孤立が想定されるなど地域の地理的条件等も踏まえて、備蓄している食料、飲料水、生活必需品等を真庭市備蓄計画により、適正に管理・更新する。</p> <p>・新たに備蓄したマスク、消毒などの感染症対策物品についても使用期限前の更新を行うことにより、より確実な対策を行う。</p> <p>・特に、直接口に入るもの、肌に触れるものは遅滞なく更新を行い、期限がくるものについては自主防災組織の訓練、学校での訓練で配布を行い口入を削減する。</p>		指標：期限切れ備蓄品数			
		目標値	実績値	評価	次年度への課題
		備蓄計画による	計画どおり完了	備蓄計画に基づき、計画的な更新を行い、各保管場所にて期限などを明示し適正に管理中。期限切れにより廃棄予定の物品についても、啓発を兼ねて配布するなど、食品ロスの削減にも貢献を行った。	備蓄計画に基づいた、計画的な更新が必要。また、国・県等の情報収集に努め、情勢の変化に対応するなどの、柔軟な対応も必要となる。
<p>1-③消防団の機能充実を図るため「消防ポンプ車」「小型ポンプ積載車」「小型ポンプ」を計画的に更新します。</p> <p>・老朽化した消防車両等を更新計画に基づき更新し、消防力の維持・向上を図る。</p>		指標：更新台数			
		目標値	実績値	評価	次年度への課題
		ポンプ車1台 積載車5台 小型ポンプ4台	ポンプ車1台 積載車5台 小型ポンプ4台	更新年を迎えた消防車両等を計画的に更新することにより、有事の際の現場活動に支障をきたさないよう備えることができた。	火災、水害等の各種災害に迅速に対応するためには、消防車両等の計画的な更新が必要不可欠である。

1-⑦真庭市地域防災計画の見直しを行います。 ・近年頻発する大規模災害を教訓とし、今後災害発生に備えるため、災害対策基本法の一部改正、国の防災基本計画、岡山県地域防災計画の改定を踏まえ、真庭市地域防災計画の見直しを行います。 ・現状に即した見直しを行うことにより、迅速かつ的確な現場対応を可能とする、より実用性の高い防災体制を構築する。 ・見直しを行った防災体制による職員の参集訓練を行い、防災体制の強化を図る。	指標：開催回数			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	防災会議 1回 危機管理 推進会議 1回	防災会議 1回 危機管理 推進会議 1回	国・県の修正に伴い、市の防災計画を修正。また、防災計画と連動した、市職員防災活動マニュアル・初動活動マニュアルを修正し、各部署へ周知。職員による警戒本部参集訓練及び避難所設営訓練等実施。	修正した計画、マニュアルに基づいた各部署の連携が必要。職員訓練を行う等により体制強化が必要。
2-①地域住民の防災意識の向上を図るための啓蒙、啓発を実施します ・「自らの命を守るために自助共助の主体である地域住民の防災意識の向上を図る」をテーマとし、最新の防災情報はもとより、新しく開始した防災情報配信サービスの登録推進、避難所・避難場所の違い、市役所、地域の役割などを周知し、住民一人ひとりの防災意識の向上を図ることを目的とします。 ・自主防災組織補助金の運用 ・啓蒙、啓発動画の作成し、MIT・YouTubeによる配信 ・要配慮者の「私の避難プラン（個別計画）」の情報共有 (コロナ渦で集会を開けるか不透明なため、今年度は内容を変更した)	指標：動画再生回数			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	500回	503回	防災意識の向上を図るための啓発手段として、ショート動画を作成した。児童にも見やすく気軽に視聴できる内容にしており、小中学校での防災学習にも活用されている。	自助・共助による地域防災力強化が災害時には特に有効と思われる。引き続き防災意識の向上に繋がるような工夫をしていくことが必要。
2-②自主防災組織等の避難・防災訓練を支援します ・自主防災組織の組織率も80%を超え各地域に取り組みが普及してきたことから、今後は組織の育成強化に重点を置き、更なる防災力の向上を図ります。 ・洪水浸水想定区域の変更や、土砂災害の危険性に対する防災意識の高揚を図るため、自主防災組織等で実施する研修会や避難・防災訓練を支援します。 ・避難所運営時の訓練では停電を想定し、PHEV車を活用した電源供給体験を加えるなど、より現実に即した訓練をメニューに加え内容の充実を図ります。	指標：開催回数			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	7回	24回	自主防災組織独自の防災訓練や、出前講座による各種防災活動の支援ができ、地域の防災力強化に繋がってきている。	自主防災組織への支援を主軸に、地域で防災リーダーとして活動していただける人材育成が必要。

2-③多くの市民の方が参加できる総合防災訓練・防災講演会を実施します ・浸水被害、土砂災害などを想定し、本庁及び各振興局と自主防災組織による避難訓練を実施します。 ・特に、新型コロナウイルス感染症の感染予防に重点を置いた、避難所の開設運営訓練を行うことにより、有事の際により安全な避難所の運営を目指します。 ・地域防災力アップ研修「みんなで防災inまにわ」で自分たちでできる防災等をテーマとした講演会を開催します。	指標：①開催回数、②参加人数			
	目標値	実績値	評価	次年度への課題
	1回	1回	「みんなで防災in真庭」で防災に関する講演会を開催した。地域で取り組む防災活動について、実際の活動事例を含めた内容でとても参考になった。	自主防災組織や要支援者等と連携した避難訓練を実施することが必要。防災講演会についても引き続き実施していきたい。